

令和6年度市民活動サポート事業
スタートアップコース
事業成果発表報告会

「発達障害に対しての真の理解や支援の
地域社会づくり」

発達パートナーズ秦野支部
椎名 智美

事業の成果

- ・定例会実施15回(秦野8回小田原3回子供の会4回)延べ参加人数162名

- ・秦野市内在住者の参加率低さ(定例会で1~2名)

小田急線沿線や平塚市、横浜市からの参加が多い、SNSや発達障害当事者会案内サイト見て参加している。

県央や県西部に当事者が集まる会が少ないことが理由でもある

- ・発達障害の自己受容、障害理解について話ができること

- ・参加者が発達障害について前向きに捉える機会の提供

- ・子供の会は支援や療育についての情報提供や子どもの向き合い方について話をすることで親御さん同士の交流の場にもなっている

当事者同士、同じ障害があることで障害の悩みが話せる居場所として活動することができた